

『まあ一杯 断る勇気が 事故を断つ』

交通事故防止に努めてください

年末の交通安全県民運動

12月1日～10日

年末の時期は交通量が増加し、交通事故が最も多発するようになりま
す。忘年会シーズンでもあることから
飲酒の機会が増え、飲酒運転によ
る事故の増加も心配されます。

この時期は一年を通じて日没時刻
が最も早く、毎年、夕暮れ時から夜
間にかけて特に高齢者の歩行中や自
転車乗用中の交通事故が増加します。
そこで、この時期に合う項目を重
点とした運動を県民総ぐるみで展開
し、県民一人ひとりの交通安全意識
を高めるとともに、安全行動の実践
を通じて交通事故の防止を図ります。
町民の皆さんも交通安全に対する
意識を高めていただき、交通事故の
防止に努めてください。

重点目標

【飲酒運転を撲滅しよう】

悪いのは運転者

だけではありません

家庭では

飲酒運転による事故の悲惨さと

責任の重大さについて、家庭で話
し合う機会を持つ。

忘年会など飲酒の予定がある日
の帰宅の方法について話し合っ
ておく。

運転者は

一滴でも飲んだら絶対に乗らな
いことや深酒を慎むことを誓う。

飲酒を伴う会合などへの出席は、
公共の交通機関を利用したり、代
行運転や家族の送迎を依頼する。

【高齢者を交通事故から守ろう】

夕暮れ時と夜間の歩行者・自転車
利用者の交通事故をなくそう

家庭では

高齢者の特性を理解し、外出の
際（歩行、自転車、自動車運転）
には、交通安全の声掛けをする習
慣をつくる。

夕暮れ時や夜間の交通事故の危
険性について話し合い、外出の際
は家族みんなで目立つ服装や反射
材を着用する。

運転者は

道路横断中や自転車乗用中の高

年齢を見かけたら、十分にスピー
ドを落とし、思いやり運転に心掛
ける。

日没時刻（おおむね午後四時半）
の三十分前にライトを点灯する。

後部座席を含む シートベルト・チャイルドシートを 正しく着用しよう

家庭では

シートベルト・チャイルドシ
ートを確実に着用してから出発する
習慣をつける。

用途、体にあつたチャイルド
シートの使用と確実な装着を行う。
運転者は

自席（助手席）はもとより、後
部席の着用も徹底する。
わずかな距離でも確実に着用す
る習慣をつける。

【飲酒運転（し）ない運動】

家庭・地域では

- 一 運転する人に酒をすすめない。
- 二 酒を飲んだ人に運転させない。
- 三 運転者は
- 四 酒を飲んだら運転しない。

反射タスキを防災交通課で無料
配布しています。

問い合わせ先

防災交通課 ☎(48)1111

(内208)

阿久比町交通事故発生状況 《平成19年1月～10月末》

区 分	件 数			人 数		
	19 年	18 年	増 減	19 年	18 年	増 減
死 亡	0	0	+ 0	0	0	+ 0
重 傷	5	2	+ 3	5	2	+ 3
軽 傷	176	176	+ 0	229	228	+ 1
合 計	181	178	+ 3	234	230	+ 4

(半田警察署調べ)